

うつわに生ける

本日はご来廊いただきまことにありがとうございます。「名陶」今もなお人々を魅了し続ける陶芸作品。「やきものは抱いて、撫でて、触ってみないと良さがわからない。」といわれております。そこでこの度、名陶をガラス越しに展示するだけでなく、もっと近くでご覧頂き、感じる事ができるような現代の住空間にふさわしくコーディネートすることを中心に「うつわに生ける」を開催させて頂くことになりました。

名品と呼ばれるものは、それぞれが存在感を主張しながらも“生命あるもの”を盛ることによってさらなる魅力が増すと思われます。名陶を生み出した作家たちの手に触れている様な感覚も加わり、より感動が増します。お越しいただいた皆様の心に響くものがあれば幸いです。

この場をお借りして私の主旨を快諾して頂いた、
峪田浩会長、日興堂の皆様、わがままな注文にもお付き合い頂いたサコダ アートオークション ギャラリーの皆様、花の取り合わせやディスプレイ等でアドバイスをいただいたジャック・デコの皆様、この度の開催にあたりご協力いただきました皆様に心より感謝いたします。

2009. 3. 24 *eili*